

未来社会創造事業の委託研究 契約締結につきまして

2021年11月25日

アンテナ技研株式会社

弊社は2021年11月16日付で、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「未来社会創造事業（大規模プロジェクト型）」の令和3年度の新規技術テーマ「安全・安心かつスマートな社会の実現につながる革新的マイクロ波計測技術」^{注1}において、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）が提案し採択された研究開発課題「超広帯域アンテナ・デジタル技術を用いたレーダ及び放射計の開発と実証」^{注2}の一環として、研究開発題目「超広帯域アンテナ・デジタル技術などを基盤技術とした受動型バイスタティックレーダの研究開発」^{注3}を実施する委託研究契約を締結いたしました。

弊社はこのプロジェクトを着実に遂行し、安全・安心かつスマートな社会実現に貢献します。

- 注1:安全・安心かつスマートな社会の実現につながる革新的マイクロ波計測技術
 - 大規模プロジェクト型 運営統括:大石 善啓(株式会社三菱総合研究所 常務研究理事)
- 注2:超広帯域アンテナ・デジタル技術を用いたレーダ及び放射計の開発と実証
 - 研究開発代表者:富井 直弥(JAXA第一宇宙技術部門 衛星システム開発統括技術領域主幹)
- 注3:超広帯域アンテナ・デジタル技術などを基盤技術とした受動型バイスタティックレーダの研究開発
 - 主たる共同研究者:藤原 純(アンテナ技研株式会社 代表取締役社長)
 - 技術指導:佐藤 源之(国立大学法人東北大学 東北アジア研究センター 教授)



受動型バイスタティック地中探査レーダとは？

- ・電波送信機を必要としない受信機だけの地中探査レーダです。
- ・電波送信源として身の回りにある携帯電話やデジタル地上波送信局等の公共電波を利用します。
- ・そのためレーダが小型軽量で取り回しが良く廉価に製造することができます。
- ・どなたでも簡単に地下を可視化できる利便性を目指します。